

# 熊野川緊急対策特定区間の 実施状況について

---

令和2年11月30日

近畿地方整備局

紀南河川国道事務所

# 熊野川改修事業(緊急対策特定区間) 事業工程

○平成29年度からは、熊野川のさらなる治水安全度の向上と浸水被害の軽減を図るため、「緊急対策特定区間」を設定し、概ね5年間で重点的に河道掘削等を実施します。  
 ○それにより、熊野川水位の影響を受ける相野谷川において浸水被害の軽減を図ります。

## 事業内容(熊野川)

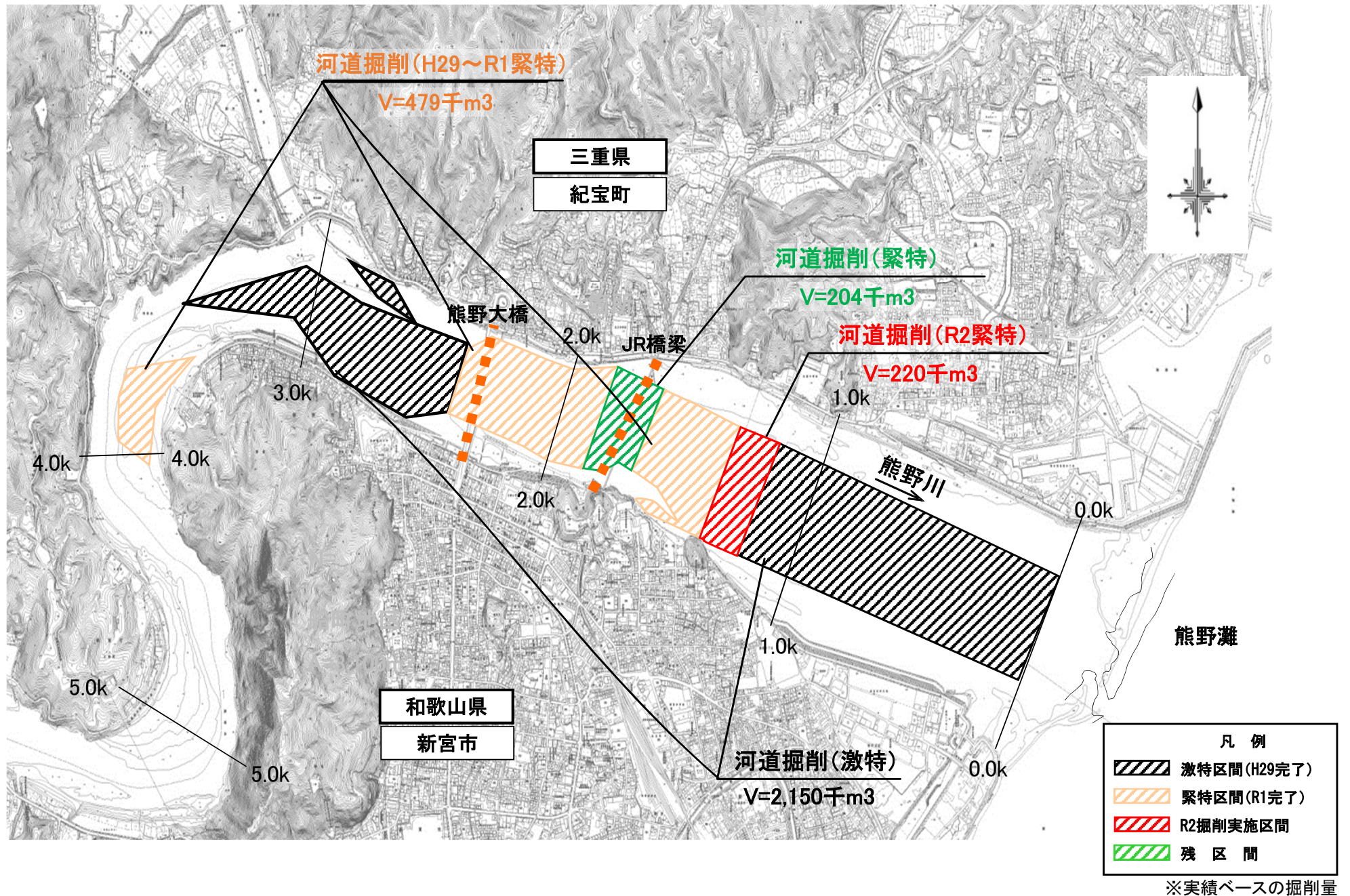


緊特工程表

	数量	H29	H30	R1	R2	R3
河道掘削	約90万m3					
JR橋脚補強	1式					



# 熊野川河道掘削実施状況

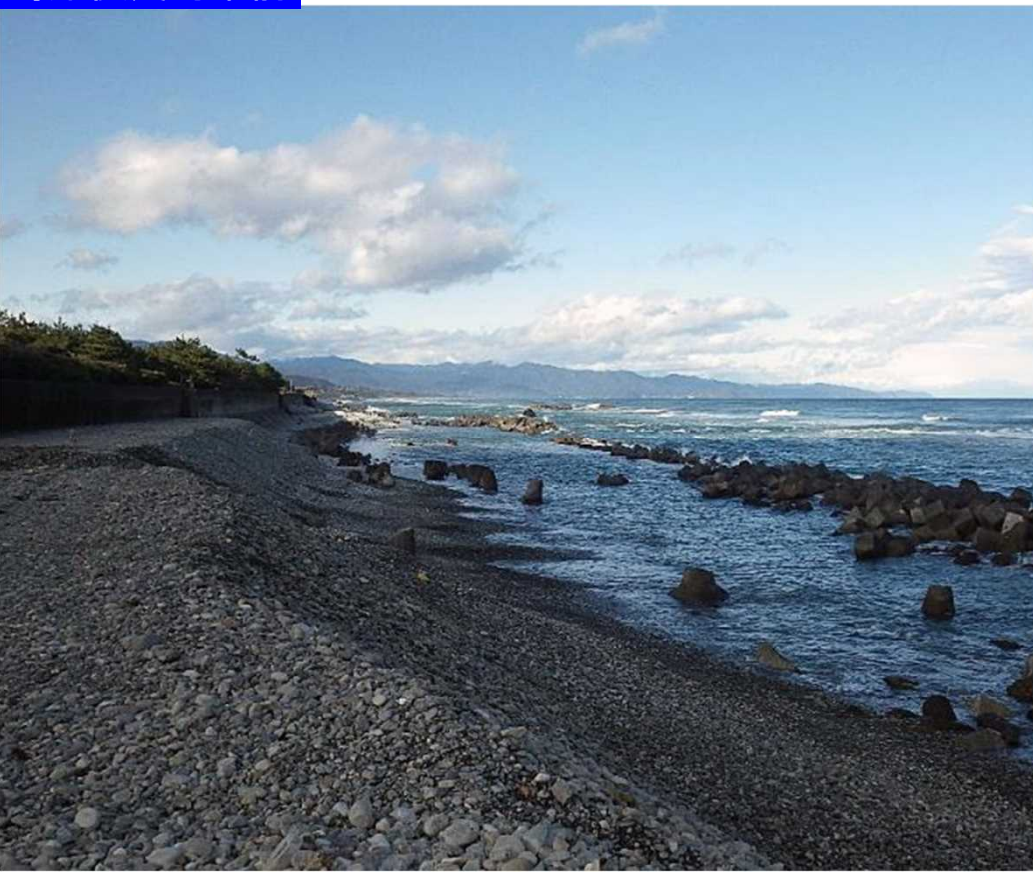




# 掘削土砂の有効活用（七里御浜【井田地区】海岸侵食対策）

○河道掘削において発生した土砂は、ふるい分け後に七里御浜（井田地区海岸）の三重県の海岸侵食対策に活用しています。（R2.10末時点の搬出量：約76万m<sup>3</sup>）

海岸侵食対策前



海岸侵食対策状況





# 掘削土砂の有効活用（新宮市での津波避難地整備）

○新宮市による津波避難地整備を連携して実施し、平成29年度に完成。避難地の基盤整備に河道掘削土砂を活用しました。（搬出量：約2万m<sup>3</sup>）

整備前



整備後





# 掘削土砂の有効活用（紀宝町での津波避難地整備）

○掘削した土砂は、南海トラフ巨大地震による津波等に備えた防災施設への活用として、紀宝町成川地区へ約5万m<sup>3</sup>を搬出し、平成30年度に完成。（搬出量：約5万m<sup>3</sup>）

整備前



整備後





# 掘削土砂の有効活用（紀宝町での高台整備）

○H23年紀伊半島大水害で甚大な被害のあった鮎田地区・高岡地区では、避難地確保に向けた高台整備のために、R2年度完成を目指して紀宝町鮎田地区・高岡地区へ土砂を搬出しています。

整備中（高岡地区）



令和2年10月28日時点

整備中（鮎田地区）



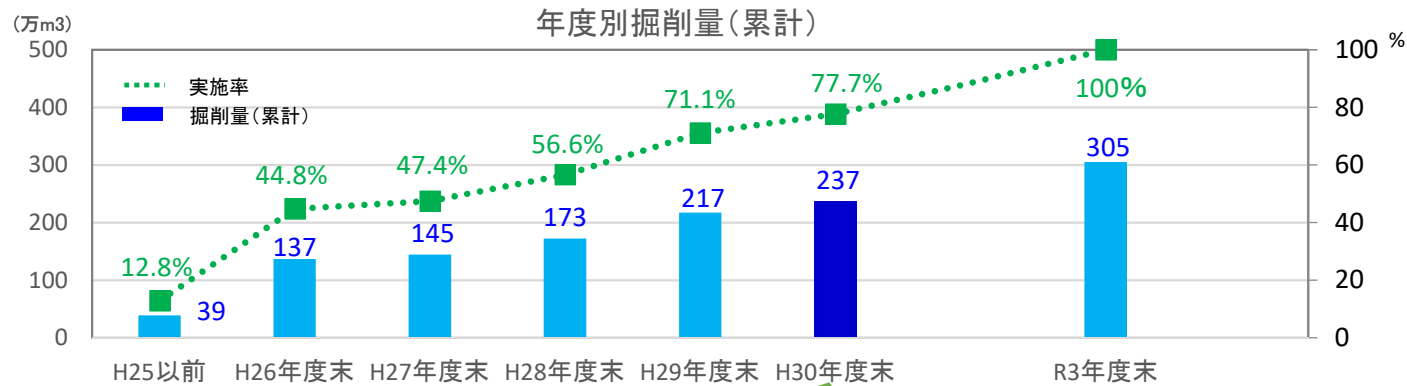
令和2年10月28日時点



三重県南牟婁郡紀宝町鮎田地区、高岡地区

# 河川整備による事業効果(令和元年8月の台風10号に対して河川整備が効果を発揮)

- 令和元年8月の台風10号洪水(約9,900m<sup>3</sup>/規模)では、熊野川本川の水位を約1m低下させ、計画高水位にせまる洪水を安全に流下。
- 支川相野谷川の水位を約1m低下させ、輪中堤からの越水を回避しました。



令和元年8月  
台風10号  
流量：約9,900m<sup>3</sup>/s

H31年3月末時点の事業効果

